



夏に向けて増える「溶連菌感染症」「手足口病」

加古川地域の感染症情報によると、溶連菌感染症、手足口病の発生が増えてきています。どちらも小児に多い病気ですが、大人がかかることもあり、家族みんなで注意する必要があります。どのように予防したらよいのでしょうか？

溶連菌感染症(咽頭炎)

《症状》

- ・突然の発熱、のどの痛み、体や手足に小さな無数の赤い発疹、舌にブツブツとした発疹ができるいちご舌など



《注意すること》

- ・兄弟間では25～50%の確率でうつるといわれるほど感染しやすい病気。なかなか難しいですがなるべく接触させないように部屋を分けたり、くしゃみの飛沫が付着しないようマスクをつけるなどして、接触感染・飛沫感染を予防しましょう。
- ・抗菌薬が処方された場合は、最後までしっかり服用しましょう。しっかりと服用して菌を退治しておかないと、腎炎などの続発症を引き起こすことがあります。
- ・抗菌薬服用後24時間たち、症状が治まるまでは登園・登校を控えましょう。

手足口病

《症状》

- ・発熱、口の中や周り・手足に凹凸のある発疹や水疱



発疹や水疱は、手のひらや、足の裏のほか、おしりにできることもよくあります。

《注意すること》

- ・発熱や、口の中に水疱や潰瘍のある急性期は登園・登校を控えましょう。
- ・症状がなくなった後も、ウイルスは2～4週間排泄され続けるので、手洗いをしっかり行いましょう。特に、便のなかには大量のウイルスがいますので、トイレ後・おむつ交換の後には特に手洗いを徹底しましょう。

発疹から「手足口病かな？」と思っていたら、水ぼうそうだった！など、重大な感染症が隠れている場合もあります。

- ・発熱がある、発疹が出ているなどの症状がある場合は、病院を受診しましょう！
- ・発疹の数が少ない場合などは、数日様子を見てから診断する事もあります。その間は登園・登校を控え、感染症が広まらないように気を付けましょう。



☆ ご予約・お問い合わせ ☆

いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」

住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地

TEL：079-490-2064(専用電話)

FAX：079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。



編集：篠田